

問題 D

問 1 嚥下機能のスクリーニング検査について誤った記述を選びなさい。

1. 反復唾液飲みテスト(RSST)は2回以上が正常である。
2. 改訂水飲みテスト(MWST)のプロフィールで嚥下あり、むせるか湿性嘔声ありは3である。
3. 食物テスト(FT)のプロフィールで、嚥下あり、むせなし、湿性嘔声なしは4である。
4. 簡易嚥下誘発試験(S-SPT)は嚥下運動の誘発までの時間を観察するが、0.4mlの水で嚥下運動まで3秒以内で正常である。
5. カフテスト(Cough Test)は1分間クエン酸液を吸入してもらうが、5回以上咳がみられれば正常である。

問 2 嚥下の機能分類に含まれないものを選びなさい。

1. 藤島の摂食・嚥下能力のグレード
2. 摂食・嚥下障害重症度分類(DSS:Dysphagia Severity Scale)
3. Modified Rankin Scale (MRS)
4. The Mann Assessment of Swallowing Ability (MASA)
5. Functional Oral Intake Scale:(FOIS)

問 3 嚥下内視鏡と嚥下造影のメリット・デメリットで誤っているものを選びなさい。

	嚥下内視鏡	嚥下造影
1. 被曝	なし	あり
2. ベッドサイドでの検査	可能	不可
3. 咽頭・喉頭知覚の有無	容易	困難
4. 食道期の判定	可能	不可
5. 唾液誤嚥の判定	容易	困難

問 4 咽頭期嚥下障害の間接訓練はどれか？組み合わせを選びなさい。

- a. 両唇音の構音訓練
- b. 舌の運動訓練
- c. バルーン拡張法
- d. 頭部挙上訓練
- e. ゼリー摂食訓練

1.a b 2.a e 3.b c 4.c d 5.d e

問 5 誤っている組み合わせはどれか1つ選びなさい。

1. 咽頭残留-----頭部挙上訓練
2. 鼻腔への逆流-----舌尖挙上訓練
3. 誤嚥物喀出困難-----随意的咳訓練
4. 嚥下反射惹起低下-----冷圧刺激法
5. 喉頭蓋谷への残留-----舌根後退運動

問題 D

- 問 6 吹く動作(口腔気流)により鼻咽腔閉鎖に関わる神経・筋群の活性化が促進される。
(対象者は鼻咽腔閉鎖不全により水分、食物が鼻腔逆流する患者)この訓練は以下の
どれを説明したものか？
1. シャキア・エクササイズ
 2. ブローイング訓練
 3. プッシング・プリング訓練
 4. メンデルソン手技
 5. バンゲード法
- 問 7 嚥下訓練・食事指導について誤っているものを選びなさい。
1. 喉のアイスマッサージは持続効果は低いが即時効果があるので食事前に行う。
 2. シャキアエクササイズは定義通りに行うと患者さんに負担がかかるので注意する。
 3. ブローイング訓練など患者さんの趣向を取り入れ楽しく持続するように工夫しても良い。
 4. 嚥下訓練を実施する際は吸引器を準備するなどリスク管理に努める。
 5. 嚥下障害者は自力摂取可能であっても誤嚥を予防するため、姿勢に注意し出来る限り
食事介助を行う。
- 問 8 高齢者の摂食嚥下障害に大きく影響する要因はいくつ存在するか選びなさい
- a. 認知症の存在、 b. 薬剤の影響、 c. 嗜好の変化、 d. 聴覚の変化、
e. 筋力・筋量の低下、 f. 大脳の萎縮、 g. 水分・栄養状態の低下 h. 胃内容物の逆流
1. 4つ
 2. 5つ
 3. 6つ
 4. 7つ
 5. すべて
- 問 9 日常会話から嚥下機能を評価するポイントがあります。組み合わせとして不適切なものは
どれか選びなさい。
- A. 一息で長く話せない B. 痰の絡んだような声 C. 声が小さい□
D. 鼻にかかったような声(開鼻声) E. 舌の先で作るラ行タ行ダ行が不明瞭
- a. 食べこぼしや流涎 b. 痰の喀出が不十分 c. 食べ物の送り込みが不十分
d. 喉頭侵入のリスク
1. A-b
 2. B-d
 3. C-b
 4. D-a
 5. E-c

問題 D

問 10 サルコペニアによる嚥下障害の特徴として不適切なものはどれか選びなさい。

1. 頭部挙上が自分でできない
2. 嚥下までのストローク数が減る
3. 舌の厚さが薄い
4. 舌圧が弱い
5. 喉頭挙上時間が長い

問 11 飲食物の喉頭流入を確認できるのはどれか組み合わせを選びなさい。

- a. 嚥下圧検査 b. 頸部聴診法 c. 嚥下内視鏡検査 d. 嚥下造影検査
e. 改訂水飲みテスト

1. a-b
2. a-e
3. b-c
4. c-d
5. d-e

問 12. 誤っている組み合わせはどれか選びなさい。

1. 構音障害----文字盤使用
2. 顔面神経麻痺----マッサージ指導
3. 嚥下障害----嚥下造影検査
4. 記憶障害----メモリーノート使用
5. 運動性失語----人工喉頭

問 13. 正しい組み合わせはどれか選びなさい。

1. 鼻咽腔閉鎖----改訂水飲みテスト
2. 声門閉鎖----反復唾液嚥下テスト
3. 食塊形成----嚥下圧検査
4. 喉頭挙上----嚥下内視鏡検査
5. 食道入口部開大----嚥下造影検査